



## 眼腫瘍

(がんしゅよう)



※内容を簡素に記載しております。詳しくは HP をご覧ください。

### 眼腫瘍について

眼部は、眼球と眼付属器（眼瞼（がんけん）、結膜、眼窩（がんか）、涙腺など）に分けられ、それぞれ異なった多種多様の腫瘍が生じます。小さな領域で頻度も低いですが、人間は眼から多くの情報を得ていて、また容貌の中心であることから、機能と形態を車の両輪として治療を考える必要があります。

### 眼内の主な腫瘍

- 網膜芽細胞腫・・・小児の眼球内に生じる悪性腫瘍。国内発症は年間 80 名程度。
- 脈絡膜悪性黒色腫・・・脈絡膜悪性黒色腫はぶどう膜悪性黒色腫に含まれ、成人の眼球内に生じる悪性腫瘍です。国内の発症は年間 50 名程度と推定されている希少ながんです。
- 眼内リンパ腫・・・眼球内に生じる悪性リンパ腫は脳に生じる中枢神経系悪性リンパ腫の一亜型と考えられ、びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫が大部分を占めます。

### 眼付属器の主な腫瘍

- 眼瞼腫瘍・・・眼瞼に生じる腫瘍は眼部腫瘍の中では頻度が高く、基底細胞がん、脂腺がん、扁平上皮がんが 3 大腫瘍であり、日本ではほぼ同じ頻度で発症します。診断のために腫瘍の一部をとって病理検査を行う場合と、最初から腫瘍全体を切除する場合があります。
- 涙腺がん・・・涙腺は涙をつくる組織で、眉毛の奥にあります。腺がん、腺様嚢胞がんなどがありますが、良性腫瘍、悪性リンパ腫との鑑別が必要です。
- 眼付属器リンパ腫・・・眼内リンパ腫と違い、結膜・涙腺・眼窩内に生じるリンパ腫の大部分は MALT 型と呼ばれる低悪性度 B 細胞リンパ腫です。一部大細胞リンパ腫、マントル細胞リンパ腫が含まれます。
- 眼窩肉腫・・・眼窩内や眼窩骨に肉腫を生じることがありますが、非常にまれです。

### 視神経腫瘍

視神経腫瘍は、小児の視神経膠腫（グリオーマ）、成人の髄膜腫が代表疾患です。

### 治療について

眼瞼や結膜の腫瘍は原則として手術を行い切除します。眼窩腫瘍も切除が原則ですが、放射線治療を行う場合があります。眼内の腫瘍は個別の治療が行われます。

